平成30年度 地域懇談会

開催回次	平成30年度第1回	開催月日	平成30年10月10日	開催校区	八町校区	開催場所	八町校区市民館
主な議題				市の回答			
<p>○地域の交通安全について</p> <p>① 西八町交差点の歩道橋について 国道1号線と23号線の分岐点であるこの交差点は、横断歩道がないため、八町通1・2丁目や近隣校区の住民、その中でも「高齢者、障害をお持ちの方」が道路の横断に大変苦慮しております。改善策として、エレベーター付歩道橋の設置、地下連絡通路の建設を提案いたします。高齢化が進む中、国に働きかけ、住民が暮らしやすい環境とするための対策をとっていただきますようお願いいたします。</p> <p>② 交差点渋滞解消・安全対策について 校区内にある、交差点（餌指橋・上旭橋・上旭橋西等）における右折渋滞問題について、抜本的な解決に向けた対策をお願いします。 今後、上旭橋西交差点について、該当町内住民の意見を聞く機会を設けて進めていただくようお願いいたします。 また、東三河建設事務所前の一方通行道路の通勤時間帯における渋滞解消に向けた市の考えを伺います。</p>				<p>西八町交差点の横断歩道橋にエレベーター設置のご要望について、名古屋国道事務所東三河維持出張所にお伝えしました。名古屋国道事務所としては、横断歩道橋のエレベーター設置については、「高齢者、障害者等の移動円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」に基づき、公共施設や鉄道駅等への利用状況や周辺福祉施設との関連を考慮して検討していくこととしています。</p> <p>西八町横断歩道橋のエレベーター設置については、既存の横断歩道橋にエレベーターを設置することは困難なため、新たな横断歩道橋への作り替えを含めて今後検討する必要があります。（その際には用地買収が必要となる可能性もあります。）</p> <p>また、隣接する公会堂前歩道橋には既にエレベーターが設置されていますので、この地域全体としてどのようにしていくかを、地元でご検討していただければ国も考えていくことが出来ますとのことでした。</p> <p>本市としても、皆様方と一緒に、安全で利用しやすい道路づくりに取り組んで参りたいと考えます。</p> <p>主要地方道豊橋乗本線が、朝夕の通勤時間帯に車両の交通量が多く、渋滞が発生し、その渋滞を回避する車両が生活道路を抜け道として利用しており、沿線の自治会が愛知県に対して対策の要望をされていると伺っております。</p> <p>その対策として、愛知県はボトルネックになっている上旭橋と餌指橋交差点に右折帯等を設ける交差点改良を計画していると伺っております。</p> <p>また、本市が管理する上旭橋西交差点も、朝夕の渋滞が南北方向に発生しており、本交差点につきましても、今後、渋滞解消を目的とした交差点改良を計画しております。</p> <p>今後、地域の方々の意見を聞きながら関係機関と協議し、整備を行っていきたいと考えております。</p> <p>また、東三河建設事務所前の一方通行道路における通勤時間帯の状況につきましても、従来から承知しておりますが、改めて状況を確認しましたところ、抜け道として非常に多くの車両が利用し渋滞が発生している状況でした。</p> <p>このような状況を踏まえ、市といたしましても今後、地域の方々と共により良い対策を公安委員会等の関係機関と協議しながら考えてまいります。</p>			
<p>○豊橋公園内の整備について</p> <p>① 公園内の照明について 豊橋公園では、夕方から夜間にかけて通学、通勤をする自転車が多く通過しますが、照明が暗く、地域住民からは防犯上心配であるという声があがっています。 再度、夜間の豊橋公園の状況を検証していただきLED照明化、照明の増設、大木の伐採等市民の安全のために必要な明るさを確保し、安心して安全に通行できるよう対応の具体策を明示してください。</p> <p>② 陸上競技場周辺住民の生活環境侵害への対策について 陸上競技場の北東角部には10軒分の住居が隣接しており、住居と陸上競技場の間に緩衝帯を設ける余地が無い場合、陸上競技場が使われる度に光害・騒音・塵埃等々で生活環境が侵害されています。一部改善策について文書でいただいておりますが、以降の試行検証結果を教えてください。</p>				<p>公園内の照明は、夜間利用者の安全と安心のため、園路、広場に設置するものであります。主要な園路では、防犯上、「安全・安心まちづくり推進要綱」による「人の行動を視認できる照度」を確保することを目指しております。</p> <p>豊橋公園では、特に朝夕の時間帯に学生や、一般の方々が豊城地区市民館前から野球場の南側又は北側を通り、市役所東南側出入口へ抜ける園路を利用されていることは承知しております。</p> <p>夜間において、この区間の照度を測定したところ、おおむね「人の行動を視認できる照度」が確保されておりましたが、一部区間では照明灯の老朽化による照度低下、樹木による照度障害がみられました。照明灯の球替え、照明灯周りの樹木の剪定により、「人の行動を視認できる照度」を確保していききたいと思います。</p> <p>また、公園施設長寿命化計画に基づいた照明灯更新に合わせて、現在3割程度完了している豊橋公園のLED照明化を着実に進めるとともに、今後予定している豊橋公園再整備においては、十分な照度が確保できるよう、照明配置についても配慮していきたいと考えております。</p> <p>騒音につきましては、9時以前18時以降はハンドマイク・音響・笛等の鳴り物禁止、観覧者等はスタンド席を利用土盛り側は極力使用しない、音響設備は民家との境界線で55dB以下になるよう設備の音量を設定（県民の生活環境保全等に関する条例に基づく音量の基準値）するなど、規約を新たに設け対応しております。</p> <p>また、スピーカーの設置場所や出力方向の変更により民家への音の影響がさらに抑えられる可能性について、現在専門業者とともにテストを行っており、改善案がまとも次第お示しさせていただきます。</p> <p>光害につきましては、全灯する大会等は1週間に1回を限度とする、その他の専用利用については1/2灯、個人利用については1/4灯とするなど、規約を新たに設け対応しております。</p> <p>また、遮光ネットの設置についての検討も行っており、専門業者から見積もりをとるとともに、現在遮光ネットのサンプルを取り寄せておりますので、今後は、順次関係住民の皆様の声聞きながら最善の環境を目指してまいります。</p>			

主な議題	市の回答
<p>③ 陸上競技場の利用について 陸上競技場について、利用する場合の申込時期、料金、地域住民への利用優先される条件等を教えてください。</p> <p>④ 豊橋公園内の整備計画に関する事前説明会の開催について 今後、アリーナの建設等大きな整備計画が予定されていると思いますが、便利さよりも良い環境を基本とし、事後報告ではなく、計画段階から住民の意見を聴取する事前説明会を開催していただきますようお願いいたします。</p> <p>⑤ 吉田城について 歴史的価値が評価され、各地から歴史愛好家が多く訪れている吉田城について、豊橋市の指定史跡にする具体的な時期及び施策について教えてください。</p>	<p>校区の体育大会など、豊橋市が必要と認める行事につきましては、優先的に予約を行うことが可能となり、利用料金の減免の対象となりますので、利用年度の前年の8月までに「スポーツのまち」づくり課までご相談ください。</p> <p>現在、検討しておりますアリーナの整備に伴う豊橋公園内の再整備につきましては、地域の住民の皆様は基より、競技団体などの関係機関に対しても適宜、情報提供・意見聴取をしながら検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>吉田城は、1505年に牧野古白が築いた「今橋城」が最初とされ、その後酒井忠次や池田輝政など、著名な武将が城主となり築城を手掛けるなど、三河や東海を代表する城として有名です。 平成29年4月6日には公益財団法人日本城郭協会から「続・日本100名城」に選定され歴史的な価値も評価され、多くの見学者が訪れるようになっていきます。 こうした見学者に対応するため、城内の石垣などに影響を及ぼす樹木を間引くほか、吉田城に関するシンポジウム・見学会・展覧会などを開催し、吉田城をより詳しく知っていただくための活動を行っています。 一方で、遺跡としての吉田城址については、本丸を中心に石垣・櫓跡・土塁・堀などが比較的良く残っておりますが、こうした地上に残る遺構のほか、地下に埋もれた御殿跡の残存状況などについての確認調査は十分に行われていません。 このため、昨年度から鉄櫓下の堀や石垣などの確認調査を進め、その価値の把握に努めております。今後も確認調査を継続的にを行い、吉田城址の文化財的価値を総合的にまとめ、指定の基礎資料としていきたいと考えております。</p>
<p>○ 八町小学校の改修計画等について 八町小学校校舎改修（5月31日開催校区懇談会にて要望書提出済）について、早期に実現していただきますようお願いいたします。又、空調設備の設置予定についても教えてください。</p>	<p>本市では、老朽化が進んでいる学校があるなか、施設保全計画に基づき施設の改修を順次行っているところですが、学校からの要望や各種点検などを踏まえ、優先度等を考慮しながら計画的に改修を進めているところです。 また、空調設備の設置については、10月から空調設備整備に向けた調査を行い、国庫補助を活用するなかで平成31年度の設置を目指していきたいと考えております。</p>
<p>○ 高齢者施策の更なる充実について 八町校区では、有志による自主的活動として、各町内の集会所等を利用し、「サロン活動（八町リビングほっこり）」を毎月数回行なっています。高齢者が楽しく元気に過ごせるように、自治会としても少ない予算からできる限りの支援をしていますが、十分とは言えません。このような状況を踏まえ、地域のために活動する自主組織等に対して、公的な支援策を一層充実させてください。</p>	<p>支え合い活動のすばらしさは、「自分たちの地域を自分たちの手で良くしよう」という地域住民の皆様の主体性にあると思います。市内には現在、114を超える地域団体（H30.3月末）があり、規模の大小も、運営形態もさまざまな中、「まちの居場所活動」や「助け合い活動」などの支え合い活動を行っております。 どの団体も工夫を凝らし、自主的な運営を行っています。例えば、「八町リビングほっこり」さんのように、自治会の支援を受けつつ、参加者から会費を集めて運営しているところや、市民協働推進補助金による「市民活動スタート支援（つつじ補助金）」や、「市民活動ネクスト支援（くすのき補助金）」を受け運営している団体などがございます。 市では、資金面での支援は今まで行っておりませんが、こうした地域活動の主体性を大切に考え、皆様の活動がより一層自立した力強いものとなるよう、企画運営に関する相談対応、地域の関係者とのネットワークづくり、活動動者交流会の開催、シニア向け情報誌での活動紹介などのバックアップを行い、支援を充実させていきたいと考えています。</p>

開催回次	平成30年度第2回	開催月日	平成30年10月16日	開催校区	天伯校区	開催場所	天伯校区市民館
主な議題				市の回答			
<p>○ 天伯校区地区の活性化について</p> <p>豊橋市においては、人口減少・高齢化等の対策として、市中心部に居住者を集中するための関連施設を建設し、「コンパクトシティ」を目指すとのことですが、この方針には賛同するものの、市街化調整区域に居住する者として、中心部のみ、税金を大量投入されることを危惧します。豊橋市の状況に見合ったまちづくりをすべきで、「コンパクトなまちづくり」に偏ることのないよう取り組むべきではないでしょうか。</p> <p>市街化調整区域である天伯校区地区にも、「豊橋総合動植物公園」「豊橋技術科学大学」「道の駅とよはし」「資源化センター」「りすば豊橋」等、豊橋市民にとって重要な公共施設が多数あります。これらの各施設を連携し、有機的に活性化するため、市としていかに関わっていくのか教えてください。</p>				<p>ご意見にありますように、天伯校区は、本市が全国に情報発信している「総合動植物公園」や、産学官連携を担う「技術科学大学」など、地域の拠点となり得る公共施設が多数あるとともに、天伯団地をはじめとした、宅地と農地とのメリハリがある地域と認識しております。</p> <p>今回策定した立地適正化計画の目指す「コンパクトシティ」は、まとまりのある市街地による行政コストの削減や、災害時の高齢者対策の面からも必要であり、本市の中でもより生活利便性の高い区域を示し、転入や転居を考える際の選択肢を提供するものであります。</p> <p>その一方、本市の市街化調整区域には約8万人の市民が住み、本市の特徴である農業や自然の景観を支える重要な役割を担っており、市街化調整区域においても地域コミュニティ維持のための集約化が大切であると考えております。</p> <p>天伯校区では、これまで「資源化センター」や「道の駅」の建設に合わせて、小松原街道の整備を愛知県に要望するなど、校区の方々と一体となった取り組みを展開してまいりました。</p> <p>また、校区の交通利便性向上のため、豊橋技科大線においては、1時間3本で運行するとともに、豊橋駅からの最終バスの時間延長を実施しており、さらに、天伯団地や技術科学大学を經由し、食彩村を結ぶ自動運転の実験も実施しております。</p> <p>今後も、「道の駅」の整備に合わせたバス路線の変更をはじめ、「道の駅」を核としたまちづくりや学生が活躍できるまちづくりなど、地域の特性を活かしたまちづくりに関するご提案や課題などがございましたら、都市計画部が窓口となって対応してまいりますので、ご相談ください。</p>			
<p>○ 豊橋技術科学大学東交差点から天伯山神社を經由して、豊橋市トレーニングセンターにかけての生活道路の改善について</p> <p>上記道路は、地域住民の生活道路になっており、保育園への送迎や一部、生徒の通学路として使用しております。多くの人々が使用するこの区間の道路は、特に安心・安全な状態であるべきだと考えます。</p> <p>しかしながら、当地域を通る幹線道路の通過交通量の増加に伴い、この生活道路への通り抜け車両も増加し、道路狭小区間において車両の接触事故が発生しております。そのため、この生活道路が安心・安全に通行できるよう早急な改善措置をお願いします。</p>				<p>この道路は地域住民の生活に対して大切な路線であると認識しております。</p> <p>この道路の状況を確認したところ、豊橋技術科学大学東交差点から天伯山神社までの区間は一部、道路幅が狭い状況であり、天伯山神社南の2箇所のカーブにおいては、特に狭い状況でした。またこの区間の一部が天伯小学校の通学路であることも確認しました。</p> <p>道路用地幅を公図等で確認したところ概ね、三間であることから今後、市と致しましても、この用地を有効活用しながら安心・安全な通行ができるよう必要な整備を地域の方々と共に考えていきたいと思っております。</p>			
<p>○ 資源化センターの安全対策について</p> <p>豊橋市資源化センターにおける事故が立て続けに発生しましたが、安全対策はどのようになっているのか教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年1月4日　　ごみピット内で火災発生 同年3月24日　　1号炉破損 同年4月27日　　粗大ごみピット内で火災発生 				<p>火災につきましては、ごみを貯留する鉄筋コンクリート造のごみピット内で発生した「ごみ火災」で、施設への類焼はございませんでした。火災の原因としましては、本来ごみピット内に火気がないことから、「危険ごみ」として分別されるべきライターやスプレー缶などが「焼却するごみ」に混入していたことなどが考えられます。</p> <p>資源化センターでは、防火・防災対策として、自衛消防組織と地震防災隊を設置し、万一の場合、迅速に行動できるよう、あらかじめ職員の任務分担を定め、平素から、必要な教育・訓練を行っております。</p> <p>また、職員によるモニター監視や巡視点検を24時間体制で行い、火災を検知して自動で消火する放水銃などの消火設備も設置し、火災の早期発見と消火を行う体制を整えております。</p> <p>次に、故障した焼却炉につきましては、現在、復旧工事を順調に進めており、予定どおり12月下旬には復旧する見込みです。</p> <p>しかしながら、度重なる施設のトラブルに関しまして、地元の皆様方に変なご心配をおかけしておりますことを反省し、これを教訓として、防火・防災対策をより一層強化してまいりますので、今後とも、資源化センターの運営に、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。</p>			

主な議題	市の回答
<p>○ 豊橋田原ごみ処理施設整備事業について</p> <p>豊橋田原ごみ処理施設は、現在位置より13メートル高くなるので圧迫感を感じるとおられます。圧迫感を緩和するデザインへの配慮をお願いします。また、資源化センターの取り壊し跡地を、公園・多目的広場・憩いの場に活用する等、多くの市民が集まる場所となるよう考慮してください。</p>	<p>豊橋田原ごみ処理施設の景観デザインにつきましては、豊橋市景観形成ガイドライン※を踏まえるとともに、周辺の皆さまのご意見を伺いながら、現施設より地盤高が上昇することに伴う圧迫感を軽減するなど十分配慮してまいります。</p> <p>また、資源化センターの取り壊し跡地の活用につきましては、今後、様々なご意見を伺いながら有効な利用形態の検討を進める中で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>※ 豊橋市景観形成ガイドライン 豊橋市の目標景観像「緑と水に包まれ、人と自然が調和した美しいまち」に近づけるため、市民や事業者、行政関係者などが事業を行う際に、景観に関する手引きとして活用することを目的として策定したガイドライン</p>
<p>○ 既存施設の改修等について</p> <p>① 「豊橋市トレーニングセンター」について 豊橋市トレーニングセンターは、市民のコミュニティーづくりや、健康づくりに利用されています。 しかしながら、現状において、外壁にひび割れがあるなど、老朽化が進んでおり、利用者は、不便や安全性への不安を抱いております。市民が今以上に親しみを感じ、かつ、被災時には、避難所など防災拠点として活用できるよう、是非トレーニングセンターの改修、補修を検討してください。</p> <p>② 「りすば豊橋」について 市民の意見を取り入れ、幅広い世代が活用できる施設運用に取り組んでください。</p>	<p>施設を管理運営する中で安全性の確保は最優先であると認識しております。今後も利用者が不安なく使用いただけるよう、また、避難所や防災拠点としての活用なども視野に入れ、必要に応じ補修等を行ってまいります。</p> <p>りすば豊橋は健康増進と交流促進の場として、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の利用に供することを目的としています。</p> <p>また、資源化センターの余熱を利用することにより、環境保全に配慮した施設の整備・運用を通して、市民の省資源・省エネルギーに関する意識向上を期待しています。</p> <p>運用については、現施設建設、運営管理者を決定する際に定めた要求水準を基に運用しておりますが、常に利用者ご意見箱の館内設置をはじめとして利用者意見を取り入れ、改善できる点は速やかに改善し、日々サービスの向上に努めています。現施設はオープンから11年ほどであり、現時点で新たな施設の拡張は予定しておりませんが、施設の課題やサービス面、ハード面等のご要望等につきましては、4年後の管理運用業務の契約更新に向けて、要求水準作成の参考にさせていただくよう考えております。</p>

開催回次	平成30年度第3回	開催月日	平成31年2月21日	開催校区	細谷校区	開催場所	細谷校区市民館
主な議題			市の回答				
<p>○防災対策について 南海トラフ地震の最新予測を考察しますと、現在なされている細谷校区の防災対策に不十分な点が多くあるように思います。 校区が広く、高齢者が多い校区の状況を考慮し、防災対策の見直しが必要であると考えます。以下にあげた検討について、市の考えをお聞かせください。 また、市としてのこの校区の防災対策についてもお聞かせください。</p> <p>① 災害に備えた取り組みについて 校区市民館が校区の避難所として指定されていますが、避難経路の距離が約4kmあり、災害発生時に住民の移動が困難であると思われる。 このような状況を踏まえ、大きな災害に備え、安全なまちづくりを進めるために地域住民として必要な取り組みについて助言や提案をお願いいたします。</p> <p>② 応急救護所について 五並地区に一か所しかない応急救護所を増設していただきますようお願いいたします。 また、応急救護所訓練について、地域の現状を踏まえた具体的な訓練方法を教えてください。</p>			<p>① 災害に備えた取り組みについて 南海トラフ地震への対策として、市民一人ひとりによる「自助」、隣近所で助け合い、地域で支えあう「共助」、そして市役所や消防による「公助」があり、これらの三つの力を互いに連携させることが何より重要であると考えています。 本市では、自主防災会やPTA、学校、行政などが協力し合って、災害に強いまちづくりを目指し、「防災まちづくりモデル校区事業」等を実施し、地域の防災力向上に取り組んでいるところです。細谷校区の皆さまは、他の校区と比べても隣近所による助け合いの精神が豊かだと思しますので、校区や各町で行う防災訓練に積極的に参加することで、更に校区の「共助」の力を向上させていただき、地域の防災力を高めていただきたいと思います。 また、特に高齢者など、いざという時に手助けが必要な方々に関しては、校区内で具体的に誰が誰を助けるか等の情報共有を図っていただき、命を助けるための避難行動につなげるよう、備えていただきたいと思います。 本市では校区への防災対策として、避難所までの避難経路が長く、災害発生時の移動が心配される地域に、平成29年度から備蓄倉庫を備えた避難支援場所を整備しています。細谷校区においても平成32年度に西山町公民館を避難支援場所に指定し、備蓄倉庫を整備する予定としております。</p> <p>② 応急救護所について ・ 増設について 応急救護所の設置場所は、市応急救護所設置要綱第2条に定めており、大原則として、市内の各中学校通学区域内に1か所としています。 また、指定避難所のうちから下記の要件を考慮して設置をしています。 (ア) 主要道路に近接し、緊急輸送及び救護活動が比較的容易な場所であること。 (イ) 発災により緊急に応急救護の必要があると予想される場所であること。 (ウ) 応急救護所の開設に医師会の協力を得るため、医師会の対応が容易な場所であること。 以上を勘案し、豊橋市医師会と協議の上、五並中学校に設置すると決めさせていただいています。また、市内22中学校区と休日夜間急病診療所、明海地区の合計24か所の応急救護所に医師、保健師等が配置されています。災害時に稼働できる医療職の人員を考えると増設は難しい状況です。ご理解をいただきますようお願いいたします。</p> <p>・ 訓練方法について 五並中学校区は、2月24日（日）に応急救護所開設運営訓練を初めて実施します。訓練を行うことで、各地域や学校施設に応じた課題や検討事項等が出てくると思いますので、是非当日は、見学にいらしていただきますようお願いいたします。 訓練は、医師会医師や保健所職員だけでなく、住民の方にも負傷者役や搬送役、受付役、誘導役等でご参加をいただいております。</p> <p>【訓練方法】 まずは、訓練開始前に参加者で会場準備を行います。つづいて、体育館等で保健所職員から訓練説明を行います。 具体的な訓練の流れについては、下記のとおりです。 1 負傷者の受付（名簿の記載、トリアージタグへ氏名・住所等を記載） 2 トリアージエリアでの医療従事者による※1 一次トリアージ 3 色分けされた待機場所や処置室への負傷者搬送 4 処置室・待機場所での応急処置や※2 二次トリアージ 5 搬送待機場所から後方収容病院・災害拠点病院への負傷者搬送 ※1 呼吸、循環、意識の順に生理学的に評価し、重症と軽症をいち早く判断する手法 ※2 一次トリアージをより生理学的・解剖学的に洗練した手法で緊急度・重症度の高い傷病者を選別するトリアージ</p>				

主な議題	市の回答
<p>○ 細谷校区の農業の現状と今後の取り組みについて 細谷校区は市内でも有数の農業地帯です。しかしながら、現状において、後継者が育つ環境とは言えず、農業にかかわる労働人口が減少し、耕作放棄地が目立つようになりました。若者が地元に残り、働ける農業環境にするための効果的な対策について助言や提案をお願いいたします。</p> <p>① 耕作放棄地及び遊休農地への対策について 増加する耕作放棄地及び遊休農地を解消し、農地として継続利用されるようにするために土地所有者として、あるいは地域としてどのような取り組みが必要か教えてください。</p> <p>② 新しい取り組み（農業経営）への支援について 豊橋技術科学大学を含め、産学官連携した農産物開発を推進するための方策や参考事例などありましたらお聞かせください。</p>	<p>① 耕作放棄地及び遊休農地への対策について 耕作放棄地の解消などに向けての本市の取組は、農業委員会と連携し毎年耕作放棄地パトロールを行い、その実態を調査しています。耕作放棄されている農地についてはその荒廃状況について通知を行い、その解消および発生防止に向けた取組を所有者にお願いしております。 また、農業委員会では遊休農地所有者に対し利用意向調査を実施し、農地銀行、農地中間管理機構などを利用した貸借による農地の活用を促しています。市ではその促進のために独自の取組として、草木等の繁茂により荒廃した農地を自ら再生するための専用機械の貸し出しや、農地として復元した借り手に対し補助を行っております。 今後も職員が地域のお声に耳を傾けていき、耕作放棄地の解消に向けた取組をみなさんと一緒に検討していきたいと考えております。</p> <p>② 新しい取り組み（農業経営）への支援について 産業支援機関である株式会社サイエンス・クリエイトでは、豊橋産農産物を活用した新商品の開発や食農産業に関わるセミナー等を異業種が連携して行っており、これまでも青じそを使った新商品開発など、多くの事業を実施してまいりました。 また、豊橋技術科学大学では、地域の農業者向けに、ITなど先端農業技術の講座とともに6次産業化や食農関係の講座を開催し、今後を担う農業人材育成を進めています。本市は、こうした産学官連携による農産物開発の取り組みを支援しておりますので、制度の活用などご相談に乗らせていただきたいと思います。</p>
<p>○ ごみの不法投棄について 23号バイパスの開通に伴い、周辺道路の交通量が増えたことによって、地域へのごみの不法投棄が増え、対応に苦慮しています。このまま放置すれば、自然環境も悪化し、防犯上も好ましくありません。投棄されたごみの処理問題について、市の対応策をお聞かせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄対策としては、防止の面からは、過去に不法投棄され今後も不法投棄される可能性の高い場所については、監視パトロールによる現場の確認に加え、必要に応じて、啓発看板や監視カメラを設置し防止を図っておりますのでご相談ください。 ・不法投棄を発見した場合は、廃棄物対策課に電話・ファックス兼用で不法投棄通報用フリーダイヤルに情報提供をお願いします。 ※電話番号 0120-56-0552 ・提供された情報や不法投棄物の確認による投棄者の情報を警察に伝達するなどにより調査・確認を行い、投棄者が判明した場合には指導などを行って再発防止に取り組んでいます。 ・不法投棄の現場を見かけた場合には、「トラブルに巻き込まれる可能性があるため、決してご自分で対処せず通報する」、また、「無断で私有地に入って確認したり、不審車両を追跡するようなことはしないこと」をお願いします。 ・投棄者が判明しなかった場合は、ごみのごみを呼ぶ状況を防ぐため、投棄場所の所有者や管理者に連絡し、早期撤去を依頼しています。